

SHOW HEY シネマルーム

★★★★★



Data

監督：ロブ・マーシャル

出演：/ダニエル・デイ=ルイス/
マリオン・コティヤール/ペネロ
ペ・クルス/ジュディ・デンチ/ス
ティシー・ファーガソン (ファーギ
ー) /ケイト・ハドソン/ニコル
ル・キッドマン/ソフィア・ローレ
ン

👁️👁️ みどころ

不振に陥ったチョー有名映画監督と彼をめぐる多くの美女たちとの相関図が、華々しい歌と踊りの中で大展開！それはそれで楽しいのだが、彼はなぜ不振に？そして、美女たちと愛を交わすことによって、なぜ再生が可能に？そこあたりが私にはイマイチだから、作品もイマイチ・・・？

— * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — *

■□■これは、フェリーニの名作に対する侮辱？■□■

私は時々ネット上で岡本太陽氏の『米映画批評』を参考しているが、彼の本作の採点は100点満点の3点と最悪！しかも、「大事件！これはフェリーニの『8 1/2』に対する侮辱だ！」というショッキングな見出しが目立つ。

岡本氏は「映画『NINE』ではキャラクターたちの見た目は美しいが、彼らの中身は空っぽで、彼らに心を感じる事もない。映画にただハンサムな人々が登場し、彼らが歌って踊るだけ。何の創造性も、芸術性も、情熱も存在しない虚構の産物がロブ・マーシャル監督ミュージカル映画『NINE/ナイン』。映画の中にはただ空しい風だけが吹いている」と酷評している。その元凶は、フェデリコ・フェリーニ監督の名作『8 1/2』（63年）のリメイクに近い形の本作が、『8 1/2』に敬意をはらっていないためと断じている。

残念ながら、私は『8 1/2』も、1982年にブロードウェイでミュージカル化されたというミュージカルも観ていないから、それらとの対比はできないが、パンフレットに書かれている「2010年アカデミー賞最有力！」という賛辞とのあまりの違いにビックリしつつ本作を鑑賞。

■□■たしかに華やか、たしかに豪華絢爛だが・・・■□■

本作は、映画制作のイメージが湧かなくなったことに悩む世界的なイタリア人映画監督グイド（ダニエル・デイ＝ルイス）と、その周りに登場する華やかな女たちとの相関図を描いたもの。女優陣はニコール・キッドマン（人気女優クラウディア）、ペネロペ・クルス（グイドの愛人カルラ）、マリオン・コティヤール（グイドの妻であり、女優のルイザ）、ケイト・ハドソン（VOGUE誌の記者ステファニー）など豪華絢爛。さらにママ役としてソフィア・ローレンまで登場する。また、本作はミュージカル仕立てだから、アカデミー賞俳優たちが次々と歌い踊ってくれる舞台は楽しい。とりわけ、ペネロペ・クルスの色気タップリな踊りは生ツバもの・・・？

このように、本作はたしかに華やか、たしかに豪華絢爛だが、何か物足りない面がある。私は岡本太陽氏のように「見た目は美しいが、中身は空っぽ」とまでは思わないが、その物足りなさは一体ナニ？

■□■なぜスランプに？なぜ美女たちが？そしてなぜ復活？■□■

作家や脚本家そして映画監督は作品の構想が浮かんでこなくなれば「陸に上がったカップ」と同じで何の役にも立たないうえ、生きていくことすらできない職業。グイド監督は素晴らしい才能の持ち主として、名声を欲しいままにしているが、今回9作目となる作品については撮影開始が10日後に迫っているにもかかわらず、タイトルが「ITALIA」ということ以外何も決まっていならしい。なかには、脚本なしでその場のインスピレーションに従って撮影していくという監督もいるらしいが、さてグイドは？

主演男優と主演女優あるいは映画監督と主演女優がデキてしまうケースは多いが、9作目の主演女優となるクラウディアとグイドは映画を撮るたびに恋に落ちてしまうらしいから、今回もヤバイ？もちろんグイドには妻ルイザがいるが、グイドの周りには常に女だらけ！夫がいるのにグイドの愛人となって久しい（？）美女カルラもいれば、少年時代には娼婦のサラギーナ（ステイシー・ファーガソン）、さらにホテルのバーでグイドに言い寄ってくるセクシーな女性記者ステファニー（ケイト・ハドソン）たちだ。グイドは背が高くてハンサムなうえ、地位と名誉とカネの三拍子がそろっているから女にモテモテになるのは当然だが、いくらそうだからってイタリアは一夫多妻の国ではないのだから、こんなに同時並行で女関係を進めていくのはマズいのでは？

本作のラストはハッピーエンド。つまり、あれほど創作できないことに悩んでいたグイドが再び撮影現場に復帰することになるのだが、多くの女たちとの絡みの中でなぜ彼は再生できたの？ケタはずれのプレッシャーを受け続け、ケタはずれのストレスを背負ってきたことはわかるが、多くの女たちと愛を交わし、子供時代を思い出しまマ（ソフィア・ローレン）からやさしくなぐさめてもらったら、元気になり、再生できるの？それが私には

イマイチよくわからないから、本作の評価もイマイチ・・・。

2010（平成22）年2月20日記